

# 新幹線通勤の利用区間拡大、工務・車両系統の被服改良

23年度  
協約改訂

## 国労要求・主張が前進

### 引き続き「職場三大要求」の獲得をめざそう

この間会社は、「労働条件は既に高い水準」との見方を示すなかでの協約4項目、制度8項目の改訂の回答、とくに新幹線通勤の利用区間拡大や被服の見直しは、国労が長きにわたり要求してきたものであり評価している。しかし、労働時間管理をはじめ、更衣時間

### 回答に対する国労の見解

問題については、長きにわたり多くの時間と議論を行ってきたが、考え方の違いから議論が平行線のままであり、専任社員についても交渉では、社員と職務・職責が変わらないことを今回の交渉で会社が認めながら、改善がなかったことは非常に残念である。

国労としては、引き続き職場で働く組合員の声を集約し、今後も改善に向け交渉していく考えである。

23労働協約改訂交渉は、各級機関が職場から集約した要求をもとに、66項目・83要求を8月3日に「国労東海申1号」として会社に申入れを行い、8月17日の第1回交渉から、9月7日まで計7回の交渉を行ってきた。

交渉では、総則・勤務・賃金・諸手当・安全衛生・昇進・専任社員・出向・育児・介護・福利厚生等と多くの項目について議論を行い、9月12日に会社回答がありました。

「協約等の改訂」で4項目、「制度等の改正」で8項目の回答が出されましたが、懸案事項である「更衣時間の労働時間化」

や「会社としての適正な労働時間管理」「専任社員の労働条件改善・賃金の向上」等は、会社との議論が平行線のままとなり、前進させることができず、今後の課題となりました。

回答を受けて東海本部は持ち帰り検討とし、9月15日に執行委員会及び第1回地方代表者会議を開催して議論を行い、新幹線通勤の利用区間拡大等の一部

の課題となりました。

（労働条件部分）改訂交渉は、4月18日から6月22日まで計6回の交渉を行いました。旅客会社と同様に春闘とともに各組合員から意見を集約し会社へ申し入れてきましたが、多くの要求に対して「現状

通りとする」とし、大きな労働条件の改善には至りませんでした。また、制度改正の交渉については、41項目の要求を申入れ、9月13日から計3回の交渉を行っています。

東海本部は、引き続き労働条件改善に向けて取り組んでいきます。



東海版・2023年度「賃金・生活実態アンケート」の取り組みについて。上記QRコードよりお願いします。締切は11月15日までです。

**NRU**

# 国労東海

国鉄労働組合 東海エリア本部

東京港区新橋5-15-5  
交通ビル7階  
発行責任者 植田 誠  
編集責任者 寺崎 浩

### 会社回答の概要

- 【協約等の改訂に関する事項】
    - ★フレックスタイム制の拡大
    - ★昇格試験における欠勤期間の取扱いの変更
    - ★職名の新設
    - ★基本協約の条文の改訂
  - 【制度等の改正に関する事項】
    - ★スマートワークの導入
    - ★新幹線通勤の区間拡大
    - ★出張時等における新幹線指定席利用の変更
    - ★勤務関係帳票類の変更
    - ★エリア・チェンジ制度の利用申請要件の拡大
    - ★社員持株会の見直し
    - ★職場つみたてNISAの導入
    - ★技術開襟シャツの見直し
- 詳細については、「交渉情報」を参照。

がん保険にできることを、もっと。

**NEW** 生きるを創るがん保険 WINGS

**No.1** アフラックがん保険

1 幅広い保障で経済的負担をサポート

2 付帯サービス＜アフラックのよりぞうがん相談サポート＞（※1）  
アフラックのよりぞうがん相談サポーターがさまざまな悩みの解決をサポート

（※1）アフラックのよりぞうがん相談サポートはHatch Healthcare株式会社またはHatch Healthcare株式会社の提携先が提供するサービスであり、アフラックの保険契約による保障内容ではありません。サービスの詳細は、アフラックオフィシャルホームページ（https://www.afiac.co.jp/keiyaku/gansoudansupport.html）をご覧ください。

アベニール株式会社  
〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5 交通ビル3階  
TEL.03-3437-6810 FAX.03-3437-6822

アフラック 東京第二法人営業部  
東京都千代田区丸の内1-6-1 丸の内センタービル19階  
TEL.03-6385-9829 FAX.03-3218-3885

# 職場の組合運動を基本に組織拡大へ

## 3地本が 大会開く

### 未来に向け職場・地域で全力で奮闘しよう

#### 名古屋地本

名古屋地本は9月2日、名古屋市内で第79回大会を開催しました。大会は岩田副委員長の司

本部高木業務部長のあいさつを受けた後、全国一般愛知で日本アクリル争議を闘う煤本さんが支援を訴えられました。

会開会あいさつ後、大会の成立を確認して議長に岐阜分会の大橋代議員を選出して進行了ました。執行部を代表して土谷執行委員長のあいさつと来賓の東海

質疑・討論では各代議員や機関代表等から発言があり、答弁を受け、その後、新役員選出・あいさつ、大会宣言の確認等々を受け、委員長の団結がんばろうで散会しました。

大会で選出された執行体制は以下のとおりです。(敬称略)

- 【委員長】土谷敏幸 【副委員長】岩田朋之 【書記長】鶴山章 【執行委員】浅野輝己、伊藤利政、山田多佳男、脇田力
- 【会計監査】額瀬善博、大金健治 (書記長・鶴山章)

#### 静岡地本

静岡地本は9月9日、静岡市で第78回定期大会を開催しました。

大会は塩澤副委員長の司会進行で始まり、議長に八木代議員を選出して議事を進めました。

冒頭、若原委員長は改憲策動の動きや消費税増税、大企業への利益最優先施策、原発再稼働など国民不在の岸田政権と対峙し、広範な共闘体制を構築し、国民本位の政策を求めていく事の重要性を訴えました。さらに23春闘での要求と闘い方に触れ、「労働者が安全で安心して働き続ける職場」を目指し職場を変

えていく闘いを強調し、「未来に向け、職場・地域のみならずと一緒に運動の先頭に立つて」全力で奮闘しようといさつしました。

討論では、「出向先の労働条件の取り組み強化」「貨物会社での年末手当闘争の重要性」「要員要求を強めること」「コロナへの会社責任の対応」「関連会社の労働条件の改善」「こくみん共済の説明会の要望」等多岐にわたる発言が出され方針が補強されました。

#### 新幹線地本

新幹線地本は9月9日、東京の南部労政会館で定期大会を開催しました。大会では、「仕事総点検運動」や「職場三大要求運動」の取り組みを含め、労働条件改善、安全・安定輸送確立、24春闘に向けた闘う方針を満場一致で確認し、新役員体制を確立しました。

大会で選出された執行体制は以下のとおりです。(敬称略)

#### 高木業務部長の集約(要旨)

##### (前号からの続き)

東海本部第38回大会での高木業務部長の集約を掲載します。

16人の代議員から発言がありました。集約の中で答弁させていただきます。

まず、組織強化・拡大についてです。組合員の減少により、組合掲示板が撤去される職場が増えており、今まで以上にホー

ムページ等を活用し、時代に合わせた取り組みを進めます。大國労の時の様な運動はできないが、少数だから出来る運動があるはず。結果はすぐに出ないが、地道な職場での世話役活動、運動を行うことで組織拡大を勝ち取りたいと考えます。

労働条件、安全・安心な鉄道、公共交通を守る闘いです。交通弱者、誰もが平等に移動する権

利については死守しなければと考えます。中央本部や他のエリア本部と情報交換を密にし、東海本部としての様な取り組みができるか検討したいと考えます。JR東海では、業務改革が昨年提案され、各種施策が次々と進められています。鉄道業において最も大事な安全を脅かす、行き過ぎた合理化施策には『STOP』と声を上げていかなければなりません。「機械でなく人でしか出来ない業務、人

でしか守れない安全・安心」を求めて闘いましょう。

24春闘ですが、この3年間我慢してきた社員の努力に報いるために、会社は社員に還元させるように主張していきます。闘い方については、来年の中央委員会での方針が決定次第、東海本部委員会で提案したいと考えています。また、貨物東海支社前行動を3年ぶりに開催しましたが、24春闘でも客員一体となつた行動を取り組むとともに、JR及び関連企業で働く労働者の賃上げや労働条件の向上を目指

して取り組みを強化し、組織拡大を目指したいと思えます。平和と民主主義を守る闘いで、岸田政権の「戦争する国」を目指した改憲発議への動きを阻止し、国民不在の暴走政治を許さず国民が主人公の政治へ転換させるためにも、野党が一丸となつて奮闘することが求められています。

要求実現のために奮闘するとともに、東海本部は先頭に立ち闘うことを決意し、本定期大会の集約とさせていただきます。

- 【委員長】佐藤裕樹 【副委員長】佐藤健二 【書記長】竹井陽一 【執行委員】細木義孝、森和浩 【特別執行委員】西田浩義、永田晴茂 【会計監査】佐藤達也、才村英明